

公開研修会「第2回 授業研究会」10月7日（木）、8日（金）

2回目も「国語科」「算数科・数学科」にこだわって授業改善を行います！

<講師>筑波大学 大学院 藤原 義博 先生

香川大学 教育学部 武藏 博文 先生

上越教育大学 大学院学校教育研究科 村中 智彦 先生

第2回の今回は、第1回に引き続き『教科別の指導における「参加」を深める授業づくり』をテーマとして、「国語科」、「算数科・数学科」の授業を行いました。

筑波大学附属大塚特別支援学校をはじめ、北海道教育大学附属特別支援学校ならびに星置養護学校、秋田大学教育文化学部附属特別支援学校ならびに栗田養護学校、比内養護学校かつの分校、京都府の中丹養護学校、石川県の七尾特別支援学校、栃木県の宇都宮大学教育学部附属特別支援学校など県内外から約40名の先生方の参加があり、熱心に参観・協議していただきました。

2日間の研修会の総括として、武藏先生より「どこまで児童生徒たちにやらせ、どのように教師が指導性を発揮するのか、学部単位で、学校単位で考えて、一致して取り組んで行くことが子ども達の学びを高めていくためには大切である。」などの助言をいただきました。また、藤原先生より「学びに困難をもっているお子さんが、いろいろな学びの機会に触れ、それに向き合い、課題解決をして、さらに新たな学びに出会っていた。授業において、こういう姿をこれからも目指していただきたい。」などの助言をいただきました。

アンケートから、参加された方々の声を紹介します。

- ・「小、中、高を通して、重ねられてきた力がすばらしいと思いました。生徒の参加する姿も小、中、高と育てていくものなのですね。対個への取組に重視されてきた中、やはりその取組は集団にかえしていかなくてはいけないのだ、と感じました。自分の職場でも、何ができるか、模索していきたいと思いました。」
- ・「地域生活に生かすための教科学習という観点で単に教科指導ではなく、参加、協同という観点での授業づくりがすごいと思いました。」
- ・「教育の可能性を実感できる素晴らしい研究会でした。得た知見を日々の授業に生かしたいと思います。ありがとうございました。」

